

第1学年 生活科学習指導案

場所 1年教室
指導者 教諭 寺田 美咲

1 単元名 さいばい：はなややさいをそだてよう③ (大日本図書 たのしいせいかつ上)

2 単元について

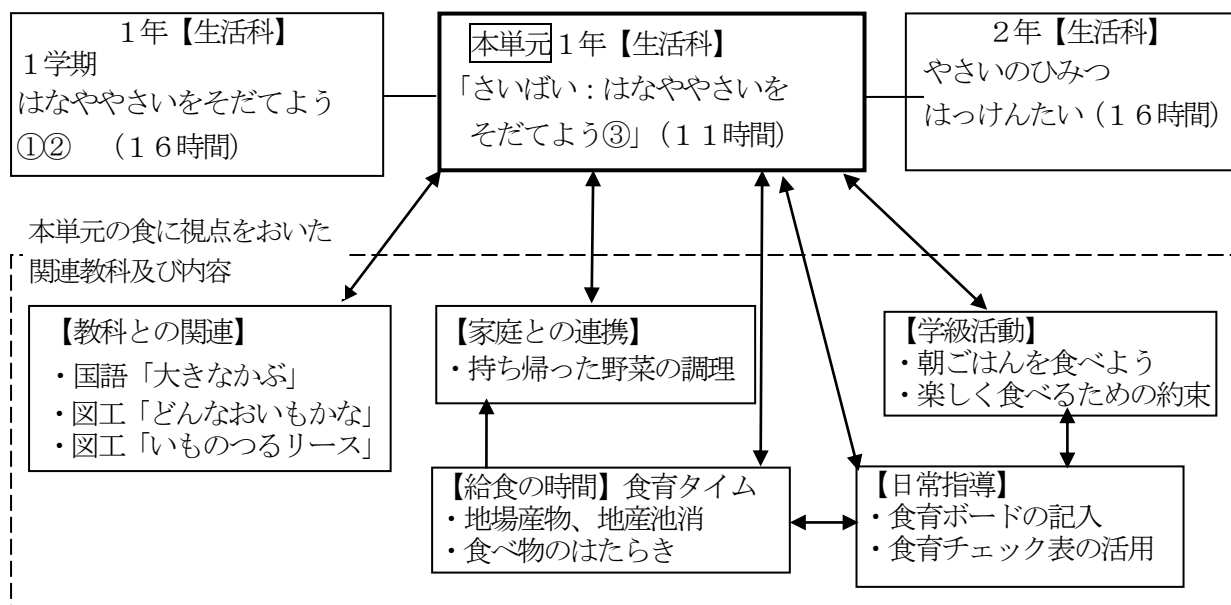
(1) 本単元のねらい

本単元は、主に学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」、(7)「動植物の飼育・栽培」の2内容で構成されている。内容(5)では、身近な自然に触れ合う体験を通して、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を楽しくできることを目指している。内容(7)では、継続的な栽培活動を通して、植物の成長の様子に関心をもつことで、植物が生命をもち成長していることに気づき、生き物への親しみをもって大切に育てる姿を期待している。

本単元では、5月から栽培しているアサガオの種取りとサツマイモの収穫を行う。児童にとって大切に世話を続けてきた花や野菜の種取り・収穫は、植物がもつ生命に関心を持ち、世話をやり通した自分の成長を感じる活動である。また、野菜の成長の過程に目を向けて世話をしたり、秋に植える野菜について考えたりする活動を行うことで、野菜の生育条件や成長の仕方と季節の関係にも気づくことができる。

本単元の学習により、野菜への親しみをもったり、自分が育てた野菜を友達と楽しく実食したりする経験を充実させることができる、第1学年の食に関する指導目標である、「食べ物に興味・関心をもつこと」、「嫌いな食べ物でも親しみをもつこと」、「食べ物の名前が分かること」などの指導目標を達成するきっかけになると考える。本単元の学びを、進級したときの自分の栽培活動等に生かしたり、1年生に教えたりという学びへと発展させるためにも、2年間を見通した学習計画を立てていく。

(2) 本単元に関わる系統及び食に視点をおいた関連教科等は次のとおりである。



(3) 児童の実態 (5人)

(人)

	質問事項	回答
生活科に関する児童の実態	今まで野菜を育てたことがありますか。	はい 5、いいえ 0
	野菜を育てるのは好きですか。	はい 5、いいえ 0
	苦手な食べ物がありますか。	ない 1、少しある 1、 たくさんある 3
	どんな食べ物が苦手ですか。	ナス、ピーマン、ショウガ、あんこ、レンコン、ゴボウ、ゴーヤ、キャベツ
食育に関する児童の実態	【心身の健康】 苦手な食べ物が食事に出たらどうしますか。	食べる 3、ときどき残す 2 いつも残す 0
	【食事の重要性】 食べたことのない食べ物が食事に出てきたらどうしますか。	食べない 0、 大人に聞いた後、食べるか考える 3 わからないまま食べる 2
	【感謝の心】 なぜ食事をするとき、「いただきます」と「ごちそうさま」を言うと思いますか。	野菜を育ててくれた人に言うため 1 食べ物に感謝するため 1 わからない 3

これまでの学習の様子やアンケートの結果から、保育園で野菜の栽培を経験してきている児童が多い。そのため、これまでの経験を生かして世話をしようとする姿が見られ、野菜の世話に意欲的に取り組んでいる。しかし、苦手な食べ物として野菜を挙げている児童が多く、食事に苦手な食べ物が出たときは「ときどき残す」と答えている児童が2名で、「食べる」と答えた児童も「嫌々ながら飲み込んで食べる」と答えた。給食の様子を見ると、食べたことがない料理が出てきたときにも、「嫌い、食べたくない」と答える児童が多く、食の知識や経験の不足が好き嫌いに影響している様子が見られた。食事のときの挨拶に関しては、感謝の思いをもって食事の挨拶をしている児童がいる一方、よく分からず行っている児童もいる。

(4) 本校の研究における指導に関して

視点1… 子どもが食について考え、自分の生活を見つめることができる授業づくりや日常における指導と意図的な体験活動の設定

ア 給食の時間の食育タイムを通して、児童の苦手な食材や知らない食材を中心に紹介し、調理の仕方や食感、味に着目して食べさせることで、食べ物への興味・関心をもたせ、嫌いな食べ物でも親しみをもつことができるようにする。【食事の重要性・心身の健康】

視点2… 学校での学びを家庭や地域で生かすことのできる場の設定

ア 収穫した野菜の栽培・調理に携わってくれた人々を招待して会食を行うことで、みんなと協力して食事を用意して食べることのよさを実感させるとともに、感謝の心をもって食事することができるようにする。【社会性・感謝の心】

イ 学校で育てた野菜を自宅に持ち帰り家族と一緒に食べることで、栽培活動の達成感を味わったり、食事の楽しさに気付いたりできるようにする。そして、家庭に持ち帰った野菜をどのように食べたのか学校で友達に伝え合う活動を行い、素材を生かした野菜のいろいろな食べ方を知る。【食事の重要性】

(5) 指導上の留意点

- 野菜の世話の仕方を調べさせたり、世話や観察カードの記入をさせたりすることで、世話を続けてきたことを振り返りやすくし、野菜への愛着をもてるようにする。
- 秋まきの野菜を育てる際に、1学期の栽培活動を通して苦手だった野菜を食べることができるようになった児童の感想を授業で取り上げ、苦手な野菜を育てたり食べたりすることへの興味・関心をもてるようにする。
- 地域の人材に野菜の栽培や調理の仕方を教えてもらう場を設定することで、地域の方との関わりを深めたり、地域の方への感謝の心をもったりできるようにする。

<人権教育の視点より>

- みんなが気持ちよく学習をするためにルールやきまりを明確に示し、それらが大切であることを理解して活動できるようにする。
- 児童が、自分で調べたことや考えたことに有用感をもち、自信をもって意欲的に活動に取り組めるように指導計画を工夫する。
- 児童が互いの意見や考え方の違いを受け止め、自分の意見を素直に伝えることができるような雰囲気づくりをする。

3 単元の指導目標と評価規準

(1) 単元の指導目標

- これまでに育ててきた野菜を収穫したり、秋植えの植物を植えたりして植物に親しんでいる。
(関心・意欲・態度)
- 野菜の育つ場所、変化や成長を考えながら世話の仕方を工夫し、野菜との関わりを自分なりの方法で絵や文で表現している。(思考・表現)
- 生き物は、生命をもっていることや成長していることに気付いている。(気付き)

(2) 単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
○身近な野菜に関心をもって関わろうとしている。	○野菜の育つ場所、変化や成長について考えている。	○野菜の変化や成長の様子に気付いている。
○身近な野菜に親しみをもち、植物を大切にしようとしている。	○野菜の様子に合わせて世話の仕方を工夫している。	○野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。
○野菜の変化や成長の様子に関心をもちながら世話をしている。	○育ててきた野菜との関わりを振り返り、自分なりの方法で表現している。	○野菜は生命をもち、成長していることに気付いている。 ○世話をやり通した自分に気付いている。

4 単元の指導計画及び評価計画（11時間扱い）








次	時	学習活動	指導上の留意点	関 意 態	思 表	気 付 き	評価規準 〈評価方法〉	食育の視点
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 育ててきたアサガオの種取りをし、種の形や色などについて観察カードに絵や文で表現する。 アサガオの種をプレゼントする計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> できあがった観察カードを春にまいた種の観察カードと比べさせる。 自分たちが2年生から種をもらったときの気持ちを想起させ、プレゼントする意欲を高めさせる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 春にまいた種と同じ形や大きさの種が採れることに気付いている。〈つぶやき・記録〉 種をどうすればよいか考えている。〈つぶやき・記録〉 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> アサガオの種を入れて保存しておくための袋を作り、プレゼントする準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いや願いをもって製作できるように、もらった人が喜ぶような工夫について話し合わせる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> 思いや願いを込めて袋をつくり、種をプレゼントしようとしている。〈つぶやき・作品〉 		
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 秋まきの野菜を植える計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 春に植えて収穫した野菜の日記を参考に、植え方や世話の仕方について考えさせる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 秋に種をまいたり苗を植えたりする植物があることやそのまき方・植え方・世話の仕方などに気付いている。〈発言・記録〉 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜には旬があることを知ることができる。【食品を選択する能力】
	4	<ul style="list-style-type: none"> 秋まきの野菜を植える。 	<ul style="list-style-type: none"> 植えたときの気付きや植えた野菜への思いや願いを観察カードに表記させ、世話をしていくことへの意欲を高めさせる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> 秋まきの植物に関心を持ち、世話をしようとしている。〈つぶやき・記録〉 		
3	5	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモの育て方や食べ方を「おいも絵巻」にして、新1年生に渡す計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容を考えさせるとともに、見通しをもって活動できるように、「おいも絵巻」に見出しを書いて掲示しておく。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 新1年生に伝えたいことを考えて、計画を立てている。〈つぶやき・記録〉 	

6	<ul style="list-style-type: none"> 土の中にできているサツマイモを収穫し、自然の不思議さを体感する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植えたときの様子とどう違うのか考えさせる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモを食べることに興味をもって収穫しようとしている。〈行動・つぶやき〉 	
7 本時	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人からサツマイモの食べ方について教えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーから調理例を聞き、多様な食べ方を示すとともに、疑問に思ったことや知りたいことを質問できる場を設定する。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食べてみたいサツマイモ料理を考えることができる。〈ワークシート・発言〉 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に伝わるサツマイモ料理があることに気付くことができる。【食文化】
8	<ul style="list-style-type: none"> 収穫したサツマイモを食べる、「おいもパーティー」を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモの栽培や調理に携わってくれた人々の協力を気付けさせ、思いや願いをもとにおいもパーティーの計画を立てることができるようにする。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 長期間にわたる世話の大切さ、世話をやり通した自分の成長、身近な人の協力を気付いている。〈つぶやき・発言〉 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培や調理に携わってくれた人々への感謝の気持ちをもっている。【感謝の心】
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャー（サツマイモの苗を提供してくれた方や調理を手伝ってくれた方）を招待し、おいもパーティーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモの栽培に携わってくれた人へ伝えたいことや感謝の気持ちを自分なりの方法で表現し伝えさせる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーや友達と調理をしたり会食したりする楽しさに気付いている。〈つぶやき・記録〉 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい食事を通して、相手を思いやる気持ちをもつことができる。【社会性】
11	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組を「おいも絵巻」にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモの苗植えから会食までの写真を用意しておく。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 新1年生のためにつくるという相手意識をもってまとめようとしている。〈行動・作品〉 	

5 本時の学習

(1) 目標 ゲストティーチャーからの情報などをもとにして、自分の食べてみたいサツマイモの料理を考えることができる。(思考・表現)

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点および評価
導入 (5)	<p>1 前時でいもほりをしたときのことを振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="316 443 821 562"> <p>・いろいろな形のおいもがとれたよ。 ・たくさんとれてうれしかったよ。 ・早く食べてみたいな。</p>  </div> <div data-bbox="304 562 1038 629"> <p>サツマイモのおいしいりょうりをみつけよう。</p> </div>	<p>【家庭とのつながり】 1学期に学級園で採れた野菜を持ち帰り、家庭で調理してもらって食べている。</p> <p>○収穫したサツマイモを教室に準備し、サツマイモを収穫したときの思いを振り返らせる。</p>
展開 (15)	<p>2 自分たちが知っているサツマイモの料理を発表する。</p> <div data-bbox="320 696 560 808"> <p>天ぷらにしたらおいしいよ。</p>  </div> <div data-bbox="767 696 1050 831"> <p>保育園で焼き芋をして食べたことがあるよ。</p> </div> <p>3 サツマイモを使った料理について知る。</p> <p>(1) VTR (栄養教諭の解説)を視聴し、調理用語を知る。</p> <div data-bbox="331 913 502 1010"> <p>・焼く ・蒸す ・揚げるなど</p> </div> <div data-bbox="518 913 1038 1025"> <p>「蒸す」って言葉、どこかで聞いたことがあるなあ。</p>  </div> <p>(2) サツマイモ料理についてGT (ゲストティーチャー)に教えてもらう。</p> <div data-bbox="331 1122 560 1256"> <p>・芋ごはん ・いきなり団子 ・スイートポテトなど</p> </div> <div data-bbox="592 1137 1038 1279"> <p>おかずにもお菓子にもなるんだ。</p>  </div>	<p>【学校給食との関連】 サツマイモの食べ方が思いつかない場合は、給食献立表を見させて、サツマイモを食べた経験を思い出させる。</p> <p>徹底指導(ポイント) ○調理方法によって様々な言葉(焼く・茹でる・炒めるなど)があることを知らせる。 ○料理の写真を掲示し、どのような料理があるのか理解しやすくする。 ○GT (東陽町ヘルスメイト3名)に質問する時間を設定し、教えてもらったときにお礼を言ったり返事をしたりするよう指導する。</p> <p>能動型学習(ポイント) ○自分が考えたおいもランキングを友達と伝え合う。</p>
(20)	<p>4 サツマイモ料理を「自分の好きな食べ方」などのテーマごとに順位付けをした「おいもランキング」をつくる。</p> <p>(1) おいもランキングをつくる。</p> <div data-bbox="331 1435 778 1503"> <p>・自分の好きな食べ方ベスト3 ・GTおすすめベスト3 など</p> </div> <p>(2) おいもランキングを発表する。 (3) おいもランキングを見比べて分かったことや気付いたことを発表する。</p> <div data-bbox="480 1592 1050 1704"> <p>いろんな料理があるから、どれを選ぶか迷ったよ。</p>  </div>	<p>評価(思考・表現) 自分の食べてみたいサツマイモ料理を考えることができる。(ワークシート・発言)</p> <p>【B基準に達しない児童への支援】 友達の考えを聞いて参考にさせる。</p>
整理 (5)	<p>5 本時を振り返り、次時の活動について知る。</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <div data-bbox="288 1787 970 1883"> <p>友達と話し合ったりGTに相談したりして気付いたことは○○です。</p>  </div> <p>(2) 次時の活動について</p> <div data-bbox="288 1921 1066 2018"> <p>・楽しいパーティーになるように話し合いたいな。 ・みんなが喜ぶおいもの食べ方を決めたいな。</p>  </div>	<p>○児童の発言から出たキーワードを板書しておくことで、振り返りやすいようにしておく。</p> <p>○活動の流れをあらかじめ記入した「おいも絵巻」を提示して、今後の活動の見通しをもたせる。</p>